

大阪モノレールの 「安全」そして「安心」

車両の点検

No.23

大阪モノレールでは、法令で定められた基準や周期に基づいて点検・検査を実施するだけでなく、過去の事例や経験を活用して異常の早期発見に努め、安全で快適な機能の維持に努めています。

● 確実な検査の実施



車両の検査は法令に定められた内容、周期に基づいて年間を通じて計画的に実施しています。

列車の検査は必ず2人以上の係員が行い、部品の修繕や交換の際には、作業の実施者と確認者がダブルチェック（再確認）することでミスや漏れを防ぐ点検方法としています。

◀【パンタグラフ交換後の再確認（指差喚呼）】

● 法定外の自主検査

法定検査以外にも、タイヤの点検や冷暖房機能などは社内基準を定めて検査しています。

「走る」「止まる」などの基本機能はもちろんのことお客さまの乗り心地や快適性などに影響する機能についても、常にその機能が保たれるよう、維持管理しています。

【モーター内部の自主検査】▶



● 情報共有と技術の伝承



過去の故障事例などの情報は、データベース化して情報を共有し、保守修繕に活用しています。

また、日々の点検作業における保全ポイントなどは、実際に機器を確認しながら、経験豊富な係員が指導・教育を行い、技術の伝承に努めています。

◀【現場での技術指導（OJT）】